

1 県の概要 (H30年度)

人口 225,661 人
保護率 0.79 %

2 支援状況調査 (H30年度)

新規相談受付件数人口10万人当(件)
一月当たり 8.3

プラン作成件数人口10万人当(件)
一月当たり 3.0

就労支援対象者数人口10万人当(件)
一月当たり 1.3

就労・増収率(%) 55.6

3 実施方法について

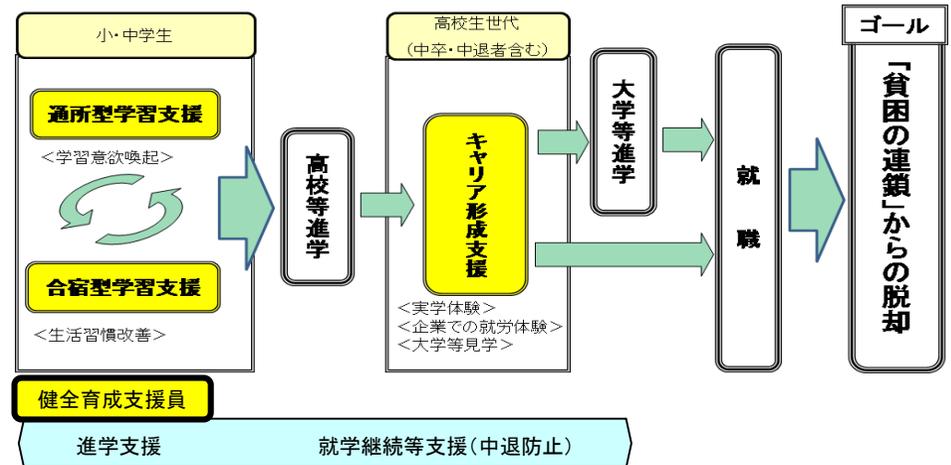
実施方法	直営+委託 (学習支援事業を委託し、育成支援員は直営)
事業費	34,916千円
理由 (委託)	・子どもの学習への対応や、生活習慣の指導において、その対応に秀でている知識を有した事業者へ委託し、事業を実施することが効果的であると考えられるため。
課題・対応	・人口が少ない町部においては、「生活困窮」へのスティグマが強く、住民同士の間関係も強いことから、生活困窮世帯のみを対象とした周知・開催が困難。原則は就学援助受給世帯等とするが、幅広く募集することにより対応。
事業概要	<p>(対象：小中学生)</p> <ul style="list-style-type: none"> 通所事業：郡部各町において、通所型の学習支援教室を開催 (週1回もしくは夏・冬季集中開催+月 複数回開催) 合宿事業：夏・冬・春季において、2泊3日の合宿を開催。学習のほか、木工、カヌー等の体験事業や、就労体験を実施 (対象：高校生世代) キャリア形成支援事業：社会体験や実学を通し、参加者の将来に向けたキャリア形成を支援するため、合宿型で夏季休暇時に合計5日間程度 (対象：小学生～高校生世代) <p>(対象：小学生～高校生世代)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健全育成支援員：世帯訪問等により、親と子どもに対し、子どもの教育や進学相談等を実施 (賀茂・東部健康福祉センターに、計3人配置)

4 事業実績 (H30年度)

		通所	合宿	キャリア形成	健全育成支援員対応者	合計
生活保護受給者	未就学児	-	-	-	2人	2人
	小学生	6人	13人	-	27人	46人
	中学生	3人	5人	-	15人	23人
	高校生世代	-	-	11人	23人	34人
生活困窮者	小学生	77人	74人	-	28人	179人
	中学生	53人	45人	-	11人	109人
	高校生世代			4人	1人	5人
合計		110人	137人	11人	106人	364人

5 事業実施のポイント～高校生世代までを一貫してフォロー～

- 各事業を通し、高校生世代までの子どもをフォローする体制としている。
- 通所のみならず、合宿を行うことにより、勉強以外の社会体験等や就労体験、職業講話を行い、参加者が将来への希望を明確化できる事業内容としている。
- 受託事業者は複数者いるが、受託事業者及び県担当者を含めた全体会議を年に複数回実施し、意識合わせを行っている。



6 取り組んで良かったこと

- ・学校や家で居場所がない子ども達が、通所や合宿に参加する楽しさを感じ、彼らの居場所を提供することができた。
- ・本事業が、生活困窮世帯の子どもに対して有効な支援施策となった。